

駐車場の正しい利用を

千歳町の『岡志別の森運動公園』には、広くてゆったりとした駐車場が完備されていて、スポーツを楽しむ人たちに評判がいいですね。

でも、公園の入り口近くにある身障者専用駐車場のスペースに、体に障害がないのに平気で車を止めている人がいて、管理する方を悩ませていると聞きます。路面に車いすのマークが書かれていても「普段空いているんだからいいだろう」とそこに駐車しているのかもしれないが、そんな車を見ると、電車の中でシルバースーツにデンと座っているように、格好も良くないですね。

一般の駐車場が離れると、100円足らずの距離です。テニスやパークゴルフで汗を流す前に、準備運動を兼ねて少し歩いてみませんか。(美園町・男性)

堆肥をもらえず 残念でした

7月22日(日)、クリンクルセンター1周年記念『リサイクルまつり』で行われた『海辺のごみ拾い』に参加しました。まつりでは、堆肥を無料

楽しかったこと、悲しかったこと、市への疑問や意見・要望などを情報推進課へ電話やはがき、封書、ファクス、電子メールでお寄せください。なお、個人や団体への中傷、営利を目的としたお話はご遠慮ください。

情報推進課

☎(85)6586
FAX(85)1108

Eメール:pr@city.noboribetsu.hokkaido.jp

中央町6-11

花と緑がいっぱいのまちを わたしの ガーデニング



秋の終わりまで 色鮮やかな花を 楽しめます

ほそかわまさこ
細川雅子さん
若草町2丁目15-11

春から夏にかけて庭をカラフルに飾る花々。しかし秋になると花も弱り色あせ、また咲く花の種類も減って寂しい庭になりがちです。

細川さんは、四季咲きの特性をもつ数種類のツルバラをはじめ、ニチニチソウやセンニチコウなどの花を植え、春から秋の終わりまで花を楽しむ工夫をしています。

「春から夏にかけて咲いたマリーゴールドやブルーサルビアは、花の茎を夏に切り戻してあげると秋にまた花を咲かせてくれますよ」と細川さん。

「観賞用トウガラシや紫色の実がつくムラサキシキブ、菊の一種ポットマムなどの鉢を置くと秋らしい庭に演出できますね」。

地植えや鉢植え。細川さん宅の庭は、秋の終わりまで色鮮やかな花が咲き続けます。

でももらえると思っていたので楽しみにしていました。堆肥の無料配布をする会場には、大勢の人が並んでいて、この列に並んでいたら10時から始まるごみ拾いに間に合わなくなると思ったので、ごみ拾いが終わってからもうごみ拾いに出発しました。たくさんのごみを手を、まつり会場へ戻り、楽しみにしていた堆肥をもらおうと行ってみると、もう全部なくなっていてもらえませんでした。一生懸命ごみ拾いをしたのにもかかわらず。ごみ拾いをしない人たちが堆肥をもらうことができ、ごみ拾いをした人がもらえないのは、何か不公平な感じがしました。(二市民)



あすなろ

くろき なおこ
黒木直子さん(22歳)

宮町脳神経外科クリニック勤務
患者さんが気軽に相談できるよう、知識や視野を広げます



「自分が本当にしたいことは何かと考えているとき、『訪問診療などを取り入れ、地域に密着した医療を目指す』という考えを持った宮町院長の存在を知り、『一緒に仕事がしたい』と、面接を受けました」と話す黒木さんは、7月に新生町に開院した『宮町脳神経外科クリニック』の看護婦として、患者さんと先生のパイプ役を務めています。

「ちょっと頭が痛いだけだから病院には行きづらいという方がよくいらっしゃいますが、放置しておいたために深刻な状態を招くことがあります。気軽に来院していただき、不安な気持ちを取り除いて元気になってもらいたいです」と話す黒木さんの笑顔は、患者さんに安らぎを与えているようです。

